

戒名と檀信徒とこれから

現在 当院は毎日 入信徒の相談の問い合わせで人が溢れています。電話も鳴り止みません。口コミでその評判が広まり活況を呈しております。毎日 葬儀法事です。普請(ふしん)も連続です。境内墓地の空きはなく熊谷霊園も残すところあと僅かです。樹木葬墓地の造成区画もなく嬉しい悲鳴の日々です。何とかいらぬ旧檀信徒に退去してもらいたいと思うことしばしばです。そこで私が個人的に認め難い人物には戒名の授与はしないことにしました。戒名とは仏弟子となり住職の徒弟になることを意味します。そして授戒をしてあの世に送ってもらうことが葬儀です。私が気にいらぬ人は葬儀を受けないことにしましたが今後は戒名も授けてはあげないことにしました。俗名のまま送られることとなります。成仏はできませんよと。それにより先祖には叱られ子孫からは疎まれることとなります。これが自業自得です。去年は私から追放された旧檀信徒がいましたがしてやったりです。戒名も欲しい人は心から住職のことを尊敬し絶対服従にてついていきますという人だけです。私に嫌われた檀信徒は近所や親族から白い目で見られることもあるようです。これによりさらに屈辱的にはなりますが私流の仕打ちです。差別化によりより一層の寺院の発展には寄与できます。宗門を改革できます。お盆供養とか何もしない人も対象にはなりません。院号家でも家柄人柄 態度 貢献度を十分に吟味して私が了としない場合は当然 私が導師を務めることはなく降格も場合によってはあります。全国的にもその名は知られているので致し方ないと思ってください。すでに公認をされたも同然です。私の場合はどんなに整理しても忙しさは増すばかりで暇になることは一向にありません。困ったものです。全国から引くて数多です。なかなか時間が作れません。つまらない旧檀信徒など相手になどしてははられ

ません。心から応援をし信奉者となってくれた人だけに絞っていきます。不埒な地区民はさようならです。けちけちした人が多すぎです。残された人生の時間はまともな人たちとだけ過ごします。余計なお付き合いはしません。有意義な時間だけに使います。人生は夢でありどうにでもなります。やりたいようにいかほどにもできます。その気さえあれば。宗教はどこまでも自由であり住職とは自由職であり僧侶とは自由人です。しがらみだらけの寺院社会 宗門 村社会から脱却して自由自在に振る舞い 言いたいことが言えてやりたいようにできるようにした功績は評価してもらいたいものです。仏教者としてはどうなのか忸怩たるものはありますが止めは刺していきます。完膚なきまでに。驚天動地の中で時代を変え作り直しひっくり返していきます。ボンクラたちよ 目を覚ませと 今年私は大いに攻めまくります。暴れます。容赦なく。自信と覚悟をもって。動けない寺院や僧侶たちを尻目に。これから総合パンフレットやチラシの永久保存版も完成します。本堂の大改修も完結します。ドラマの第二幕はスタートしました。カンブリア宮殿やガイアの夜明けも夢ではありません。最高の条件の中で今年が始まりました。エンジンは全開です。ご期待ください。私の今の楽しみは当院住職を退任する日が早期に来ることです。今年も飛躍 飛躍 ぴょんぴょんの一年にしたいと思います。とにかく当院 毎日毎日が盛り上がっています。大盛況です。感謝感謝です。

合掌

令和5年1月18日

見性院住職